

Cisco VPN クライアントを認証するための Funk RADIUS 設定

内容

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[VPN 3000 コンセントレータの設定](#)

[RADIUS サーバの設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、VPN 3000 コンセントレータおよび Funk RADIUS サーバが連携して Cisco VPN クライアントを認証するように設定する方法を説明します。VPN Client を認証した後、Funk RADIUS サーバは IP アドレスをクライアントに提供します。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

このドキュメントの情報は、VPN コンセントレータのプライベート インターフェイスとパブリック インターフェイスの設定が完了していることを前提としています。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、VPN 3000 コンセントレータのすべてのリリースに基づいており、Cisco VPN 3000 クライアント (2.5.x) と Cisco VPN クライアント (3.x) の両方に適用されます。

この情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。実稼働中のネットワークで作業をしている場合、実際にコマンドを使用する前に、その潜在的な影響について理解しておく必要があります。

VPN 3000 コンセントレータの設定

VPN コンセントレータ サイドを設定するには、次の手順に従います。

1. [Configuration] > [System] > [Servers] > [Authentication] に移動し、[Add] をクリックします。
。 [Server Type] で [Internal] を選択し、[Add] をクリックします。
2. [Configuration] > [System] > [Servers] > [Authentication] に移動して [Add] をクリックし、以下のパラメータを設定します。 Server Type : [RADIUS] を選択します。 Authentication Server : RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。 Server Secret : RADIUS サーバと同じストリングを入力します。これらのパラメータを設定したら、[Add] をクリックします。
3. [Configuration] > [System] > [Address Management] に移動し、[Use Address from Authentication Server] オプションをオンにします。
4. [Configuration] > [User Management] > [Groups] に移動し、[Add] をクリックし、グループ ID、DNS および認証のパラメータを設定します。 [Identity] タブで、次のパラメータを設定します。 [Group Name] (大文字と小文字を区別) [Password] (大文字と小文字を区別) [General] タブで、次のパラメータを設定します。 Primary DNS Secondary DNS Primary WINS Secondary WINS 注：接続時に2台のWINSサーバのIPアドレスがVPN Clientに渡されます。 [IPSec] タブで、次のパラメータを設定します。 認証 : [RADIUS] を選択します。これらのパラメータを設定したら、[Add] をクリックします。

リリース 3.0 以降では、グローバルで定義した Funk RADIUS サーバをすべてのグループで使用するのではなく、各グループにそれぞれ Funk RADIUS サーバを設定できるようになりました。個別の Funk RADIUS サーバが設定されていないグループは、グローバルに定義されている Funk サーバを使用します。

上記の例では、1 つのグローバル Funk RADIUS サーバが定義されます。また、グループごとに個別の Funk RADIUS サーバを定義することもできます。このためには、[Configuration] > [User Management] > [Groups] に移動し、グループを強調表示して [Modify Auth Server] を選択します。

RADIUS サーバの設定

VPN コンセントレータと通信するように RADIUS サーバを設定するには、次の手順に従います。サーバの詳細については、[Funk Software](#) または [Juniper Networks](#) を参照してください。

1. [RAS Client] メニューで [Add] をクリックし、クライアント名、IP アドレス、およびメーカー/モデルのパラメータを設定します。 Client Name : VPN コンセントレータの名前を入力します。 IP アドレス : RADIUS サーバと通信するインターフェイスのアドレスを入力します。
(RADIUS サーバは VPN コンセントレータを RADIUS クライアントとして認識します) Make/Model : **VPN 3000 Concentrator** と入力します。
2. [Edit authentication secre] をクリックし、共有秘密を入力して [Save] をクリックします。
3. [Users] メニューで、設定したユーザまたはグループを選択し、フレーム IP アドレスとクラス return-list 属性を追加します。 Class : 前述のステップ 4 で設定したグループ名を入力します。 Framed IP Address : VPN コンセントレータの IP アドレスまたはプール名を入力します。
4. RADIUS サービスを停止して再起動します。

関連情報

- [RADIUS に関するサポート ページ](#)
- [IPSec に関するサポート ページ](#)
- [Cisco VPN 3000 シリーズ コンセントレータに関するサポート ページ](#)
- [Cisco VPN 3000 シリーズ クライアントに関するサポート ページ](#)
- [Requests for Comments \(RFCs\)](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)